

■ピカソ通信 臨時増刊9号■ 2002.6.1 発行
等幅フォントでご覧ください
本編(6月1日号)は届いていますか? 届いてない方はご一報ください

◆◆◆◆◆ ■ 特集 ■ 吉沢梅乃「雨と贊美歌」クロスレビュー

=*=-*=-*=-*=-*=-*=-*=-*=-*=-*=-*=-*=-*=-*=-*=-

++++ 「雨と贊美歌」

雨とオルガンって合うんですよ。(梅)

ピカソ節、炸裂！(辻)

++++ 「アフターマス ~余波~」

これって、激しい曲なのに結構キュンときちゃいます。(梅)

鬼才ドrama、河野道生の初作品！！(辻)

++++ 「hatsukoi」

たまにはこんなレトロな日本の夏はどうですか？(梅)

尾道三部作の世界だね。(辻)

5月20日、avex系インディーズレーベル「HiBOOM」から発売されたマキシシングル「雨と賛美歌」の収録曲について、吉沢梅乃ご本人さん(梅)と、事務所社長こと辻畠鉄也さん(辻)に一言ずつ、セールスポイントを挙げていただきました。読者の皆さんにはもう、このマキシ、聴かれましたか?

「まだ....(^^;」という方のために、編集部で聴いた感想を書いてみました。曲の感じが伝わると嬉しいです。

++++ 「雨と贊美歌」

色に例えれば、ジャケットどおりの黒、一つか宇宙空間。ですかね。アニソンとして番組提供の後ろでかかっているイメージも感じました。「ガンフロンティア」の後ろでかかれればアニソンらしい感じがするし、これだけ単体で聴けば吉沢梅乃の曲だって思えるし、そのあたりちゃんと曲として成り立ってるなって思いました。

でもこれはもう確かに“ピカソ節炸裂！！”ってのが分かりました。変な話、このまんまりーダーが歌っても・・・・イインジャナイ？って思ったぐらいです。（サトヨコ）

第一聴の感想は「何もそこまで“ピカソ”しなくてもいいのに(笑)」
上に書いてある辻畠さんの言葉は本当でした....テンポといい、2拍
ずつ変わるコード進行の流れといい、サビで拍を刻むハイトーンと
いい、ピカソファンは絶対ニヤリとすること請け合い。梅乃さんの
声も、詞や旋律の壮大さをしっかりと受け止めています。(ぎねね)

++++ 「アフターマス ~金波~」

ブッタンジャッテマス。「OVER SOUL」系かな?。色に例えれば銀色。アフターマスってなんだ? って思いましたけど……。

う~ん、いまだにわからないです……ゴメンナサイ。

聴いていて、ドーンとダーンと走っていっちゃえ～という感じを受けました。心の後についてくる体ってところが好きです。重い音がビュンビュン飛び交って疾走感漂うイメージを出しているようです。

(サトヨコ)

低音でジワジワと盛り上がるボーカルが、癖になりそうな曲ですね。c/wらしく(?)イントロもエンディングもマニアック。特にエンディングはベルアコの「潮騒のうた」、今野久美の「スタンダールの叶

息」に通じるものあり。サビのプラス音もこれぞピカソ!の出来。
ちなみに上でサトヨコさんが書いた疑問ですが、アフターマスは英語の様ですね。だからサブタイトルが“余波”なのか....(ぎねね)

++++ 「hatsukoi」

前の2つがギャンギャンいってたのでその二つからイメージを変えて・・・例えば、氷アズキとクリームあんみつを食べて、“甘々”になった口をなだめる“しその実”みたいな曲だなって感じたのはわたしだけでしょうか?

こんな初恋してなくても、みんなに共通項のように感じ取れる歌なんじゃないかな?と思いました。コレでみんな胸キュンの気持ちになろーってね。この曲のイメージはモチロン、水色でしょうね。

(サトヨコ)

2000年の緊急ベータ版ミニアルバム「天使にできないこと」、2001年春にオープンした「MelodyFair」で聴いた方にはお馴染みの曲。他の2曲が“今の”彼女を表している一方、以前に録音されたこの曲は、まだ初々しい頃の彼女のひたむきさが出ている様な気がします。“白い夏服”的コード付けに、森さんらしさを感じたり?(ぎねね)

.....いかがでしたか?

CDのこと、もう一度おさらい。以下の通りです。ぜひ聴いてみてください(^^)

| 吉沢梅乃「雨と贊美歌」2002.5.20発売 ¥1260 (CD番号:PQCD-10016)

| 【収録曲】all songs are produced by PICASSO !

- | | | |
|---------------|--------|----------|
| 1. 雨と贊美歌 | 詞:東 純二 | 曲:辻畠鉄也 |
| 2. アフターマス～余波～ | 詞:東 純二 | 曲:カワノミチオ |
| 3. hatsukoi | 詞:東 純二 | 曲:森 英治 |

| 【発売元】HiBOOM (avex系インディーズレーベル)

| 全国のCDショップで購入できます。お店がない時はアーチスト名
| /タイトル/CD番号を伝えて注文してください。

| 「雨と贊美歌」:松本零士原作アニメ「GUN FRONTIER」エンディング曲

| (SKY PerfecTV アニメシアターX Ch.729で 全国放送中!)

| 「アフターマス～余波～」:ネットドラマ「ロクアナ」エンディング曲

| ★★ 音源試聴できます。吉沢梅乃公式ページへGO! ★★

| <http://www.pro-picasso.com/umeno/>

おことわり....ピカ通4月1日号ではCD番号を「PQCD-10015」とお伝えしていましたが、当初の情報では確かにそうなっていました。
その後(訂正か変更か不明ですが)情報の内容が変わった様です。

◆◆◆◆◆
◆ ♪ ◆ ■ NEWS FLASH はみだし版 ■ 梅乃情報 掲載誌一覧。
◆◆◆◆◆

「oricon」4.29号／「weeklyぴあ」5.20号／「WHAT'S IN ?」6月号

当編集部で確認できたのは、今のところこれだけです....(全部2002年です)
大きい記事も小さい記事もあります。
他にもありそうな気はするのですが、当編集部にはこれといった情報は何もありません。上記の3誌も、本屋で地道に1冊ずつ立ち読みして発見しました。

梅乃さんに限らず、メトロノームアーチストのことが載っている本を見つけた

方はぜひ、教えていただけないでしょうか？
貴重な露出です、楽しみはみんなで分かち合いましょう！ よろしくですm(..)m



今回のインタビュー、実は辻畠さんにこんな(意地悪な?)質問もしてみました。

=*=-*=*=*=*=*=*=*=*=*=*=*=*=

これは梅乃さんに限ったことではないのですが....

将来、所属アーチストのメジャーデビューが決まった場合、
そのアーチストはPROJECT PICASSOを“ご卒業”の扱いになるのでしょうか？

++++ ピカソがプロデュースするかぎり、それは違います。
単に発表のツールを変えてみただけのことです。

=*=-*=*=*=*=*=*=*=*=*=*=

PROJECT PICASSO設立から2年。

大手インディーズレーベルから全国発売となった梅乃さんやBell&Accordionsを筆頭に、どのアーチストも活動を着実に広げているなあ....と思います。

とは言うものの、彼等が今後どうなるのか、私達リスナーにとっては未知の世界でもあるので、PROJECT PICASSOとしての方針を一度きちんとお伺いしてみたいと、以前から思っていました。この「ピカ通」のあり方にも関わることだし。今後もピカソとその仲間達の活動を、見守って行きたいですね。彼等と同様、優しさはそのままに、強さを一層身につけつつ。

(ぎねね)

☆ 投稿・ご意見はこちらへ ☆

メール : parade@p.club.li または picasso@post.tok2.com

フォーム : <http://www.saturn.sannet.ne.jp/picasso/form.html>

企画・制作：プロジェクトペリカン 制作協力：メトロノームレコード様

登録／解除URL <http://17.tok2.com/PARADE/mailmagz/index.htm>

このメールマガジンは『まぐまぐ』から発行しています。

since 2000 :::: Picasso Newsmail All Rights Reserved.